



Agilent 化学発光硫黄検出器 (SCD) と 化学発光窒素検出器 (NCD)

仕様書

Agilent 8355 SCD

感度 (MDL) ¹	< 0.5 pg(S)/秒
選択性 g S/g C ²	>2 × 10 ⁷
直線性 ³	>10 ⁴
再現性	<2% RSD 2 時間 <5% RSD 24 時間
オゾン供給ガス	乾燥酸素 (ウルトラゼログレード)
反応ガス	ウルトラゼログレードの空気
水素	ウルトラゼログレード
アナログ出力	0 ~ 1 V、0 ~ 10 V (スタンドアロンバージョンのみ)

¹ **感度:** バーナー温度 800 °C、8 mL/min Lower H₂ 流量、38 mL/m Upper H₂ 流量、50 mL/min の空気、SCD チェックアウトサンプル (5190-7003) 中の *tert*-ブチルジスルフィドを試験化合物として使用、30 m × 0.32 mm で膜厚 1 μm の DB1 (123-1033)、50 °C で 3 分間、25 °C/min で 160 °C まで加熱、2 分間維持、1 μL のスプリットレス注入。

² **選択性:** 選択された炭化水素の感度に対する S の感度として定義。測定パラメータは感度と同一条件。SCD チェックアウトサンプル中のイソオクタン (サンプル溶媒) および *tert*-ブチルジスルフィドを試験化合物として使用。

³ **直線性:** 測定パラメータは、12 mL/min Lower H₂ 流量および 42 mL/m Upper H₂ 流量を除き感度と同一条件。80 °C で 1 分間、25 °C/min で 160 °C まで加熱、2 分間維持、オンカラム注入。試験化合物: イソオクタン中の *tert*-ブチルジスルフィド。



Agilent Technologies

Agilent 8255 NCD

感度 (MDL) ¹	N モードおよびニトロソアミンモードで < 3 pg(N)/秒
選択性	N モードで $g\ N/g\ C^2 > 2 \sim 10^7$ (ニトロソアミンモードの感度は マトリックスにより異なる)
直線性 ³	>10 ⁴
再現性	< 1.5 % RSD 8 時間 (N モード、ニトロソアミン モード) < 2 % RSD 18 時間 (ニトロソアミンモードは21 時間で ~3 % RSD)
オゾン供給ガス	乾燥酸素 (ウルトラゼログレード)
反応ガス	ウルトラゼログレードの酸素
水素	ウルトラゼログレード
アナログ出力	0 ~ 1 V、0 ~ 10 V (スタンドアロンバージョンのみ)

- 感度:** バーナー温度 900 °C、3 mL/min の水素、8 mL/m の酸素、NCD チェックアウトサンプル (5190-7002) 中の 3-メチルインドールを試験化合物として使用、30 m × 0.32 mm で膜厚 0.25 μm の HP-5 (19091J-413)、50 °C で 3 分間、25 °C/min で 250 °C まで加熱、2 分間維持、1 μL のスプリットレス注入 (ニトロソアミンモードの場合はメタノール中のジプロピルニトロソアミンが試験化合物として適切。オンカラム注入口、0.5 μL の注入、ニトロソアミンの極性と適合させるために WAX カラムを推奨)。
- 選択性:** 選択された炭化水素の感度に対する N の感度として定義。
測定パラメータは感度と同一条件。NCD チェックアウトサンプル中のイソオクタン (サンプル溶媒) および 3-メチルインドールを試験化合物として使用。
- 直線性:** 測定パラメータは、オープンの温度 (80 °C で 1 分間、25 °C/min で 180 °C まで加熱、1 分間維持) を除き感度と同一条件。イソオクタン中のニトロベンゼンを試験化合物として使用。

物理的仕様

電源要件

8255/8355 検出器およびポンプ	120/220 ~ 240 V
	50/60 Hz
	1,200 VA

寸法

検出器	高さ: 41.0 cm (16.1 インチ) 幅: 27.0 cm (10.6 インチ) 奥行き: 51.1 cm (20.1 インチ)
8355 SCD 重量	22 kg (49 ポンド)
8255 NCD 重量	24 kg (52 ポンド)
バーナー	高さ: 22.1 cm (8.7 インチ) 重量: 0.7 kg (1.5 ポンド)
真空ポンプ	高さ: 26.1 cm (10.3 インチ) 幅: 15.8 cm (6.2 インチ) 奥行き: 43.0 cm (16.9 インチ) 重量: 25 kg (55 ポンド)

環境条件

設置カテゴリ	II
汚染度	2
室温	10 ~ 40 °C (50 ~ 104 °F)
相対湿度	31 °C (87.5 °F) で 80 % 40 °C (104 °F) で 50 %
動作環境	屋内のみで使用
最高標高	2,000 m (6,562 フィート)

www.agilent.com/chem/jp

アジレントは、本文書に誤りが発見された場合、また、本文書の使用により付随的または間接的に生じる損害について一切免責とさせていただきます。

本文書に記載の情報、説明、製品仕様等は予告なしに変更されることがあります。

アジレント・テクノロジー株式会社

©Agilent Technologies, Inc. 2015

Printed in Japan

August 18, 2015 5991-6379JAJP



Agilent Technologies